

第58回全国道場少年剣道大会

令和6年7月30日(火)～31日(水) 於 日本武道館

本県勢初

中学生の部

福井養正館が初優勝！



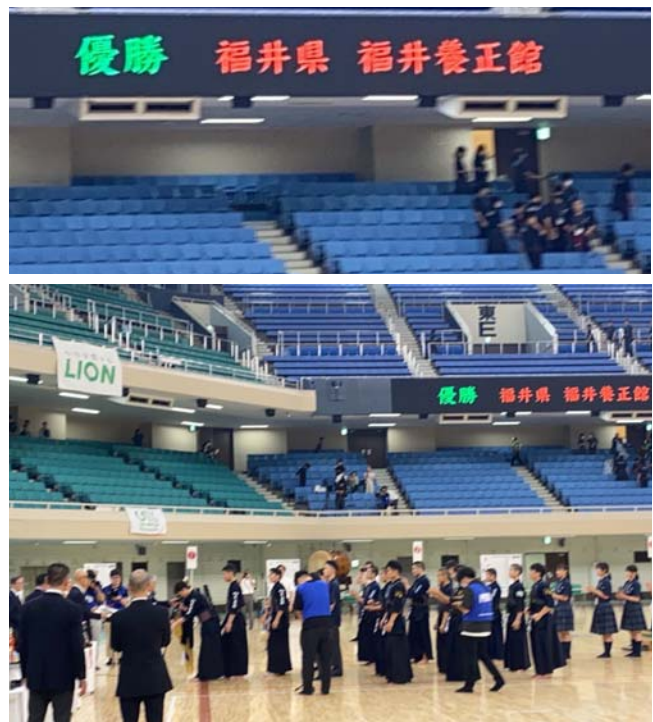
第120号

発行人

(一財) 福井県剣道連盟
会長 片山 外一

事務局

〒910-0015 福井市二の宮2丁目24-18
サンライズニの宮 1-B
TEL・FAX (0776)28-6616
メール fkickendo@herb.ocn.ne.jp



全日本剣道道場連盟主催(全剣連等後援)の「第58回全国道場少年剣道大会」が7月30日(火、小学生の部)31日(水、中学生の部)、日本武道館で開催されました。本県からは4月28日(日)、敦賀市総合運動公園体育館で開催された「第37回福井県道場少年剣道大会」で上位入賞した小学生7チーム、中学生6チームが出場し、中学生の部で福井養正館が本県勢初の初優勝を遂げました。そのほか中学生の部で新風館愛宕坂道場、鯖江志土樹館道場、福井今立道場がそれぞれの試合場のベスト8に入賞し表彰されました。

本県勢の結果は次の通りです。

■小学生

▽1回戦

- | | | |
|----------|-----|---------------|
| 福井養正館 | 1-2 | 高島平剣仁会B (東京都) |
| 鯖江志土樹館道場 | 0-2 | 四誠館B (埼玉県) |

▽2回戦

- 福井今立道場 0-2
- 蔵の街剣志会 (栃木県)
- 鳥羽スポーツ少年団剣道部 0-3
- 解脱錬心館A (埼玉県)
- 敦賀市剣道スポーツ少年団 0-1
- 臥龍徳心館 (佐賀県)
- 志士樹道心会 1 (本数負け) - 1
- 碑文谷警察署少年剣道部 (東京都)
- 木田剣道スポーツ少年団 0-1
- 北上警察署剣道スポーツ少年団
- さくら館B



鯖江志士樹館道場



福井養正館



敦賀市剣道スポーツ少年団



鳥羽スポーツ少年団剣道部



福井今立道場

■ 中学生の部

▽1回戦

- 鯖江剣道団 2-0
- 苫小牧如水館 (北海道)
- 鯖江志士樹館道場
- 1 (代表勝ち) - 1
- 六郷剣道クラブ (宮城県)
- 一養会 1 (代表負け) - 1
- 周布剣道会 (愛媛県)



木田剣道スポーツ少年団



志士樹道心会

▽2回戦

▽3回戦

- 福井養正館 1-0
- 大和中学校剣道クラブB (佐賀県)
- 新風館愛宕坂道場
- 1 (本数勝ち) - 1
- 帯広の森体育館剣道少年団 (北海道)
- 鯖江剣道団 1 (本数負け) - 1
- 羽島市剣道教室スポーツ少年団A (岐阜県)
- 鯖江志士樹館道場 1-0
- 京都剣道教室 (京都府)
- 福井今立道場 1-0
- ジャクバ剣志館B (東京都)
- 福井養正館 2-1
- 札幌若草 (北海道)
- 新風館愛宕坂道場
- 1 (本数勝ち) - 1
- 杵築少年剣道部 (大分県)
- 鯖江志士樹館道場 3-0
- 白井剣士会 (新潟県)
- 福井今立道場 1 (代表勝ち) - 0
- 九学道場 (熊本県)
- ▽4回戦
- 福井養正館 2-0
- 天心塾 (大分県)
- 新風館愛宕坂道場 0-3
- 白石中学校A (佐賀県)
- ※第4試合会場ベスト8
- 鯖江志士樹館道場 0-3
- 衛心館 (福岡県)
- ※第15試合会場ベスト8

福井今立道場 0 (代表負け) ー 0

阿見舟島剣道クラブ (茨城県)
※第13試合場ベスト8

▽5回戦

福井養正館 1ー0

大野東剣道スポーツ少年団 (福岡県)

▽6回戦 (コート決勝)

福井養正館 2ー1

習志野剣志会 A (千葉県)

【決勝トーナメント】

▽1回戦

福井養正館 0 (代表勝ち) ー 0

上の台剣友会 B (千葉県)

▽準々決勝

福井養正館 2ー0

練兵館 (栃木県)

▽準決勝

福井養正館 2ー1

須恵剣友会 (福岡県)

▽決勝

福井養正館 0 (代表勝ち) ー 0

九好会 A (熊本県)

※優勝



一養会



鯖江志士樹館道場



鯖江剣道団



福井今立道場



新風館愛宕坂道場



福井養正館

令和6年度玉竜旗高校剣道大会

令和6年7月25日(木)～29日(月)
於 福岡市総合体育館「照葉積水ハウスアリーナ」

本県勢初 敦賀高校女子がベスト8入賞!



西日本新聞社などが主催する「令和6年度玉竜旗高校剣道大会」が7月25日(木)～29日(月)、福岡県福岡市の福岡市総合体育館「照葉積水ハウスアリーナ」で開催され、本県からは男子が丸岡高校、敦賀高校、敦賀気比高校、啓新高校、女子は敦賀高校、敦賀気比高校、啓新高校、北陸高校が本県勢初となるベスト8に入賞、優秀校の表彰を受けました。また同校の岸本歩愛選手(3年)が優秀選手賞を受賞しました。

本県勢の結果は次の通りです。

男子の部

- ・丸岡高校 4回戦進出 ベスト64
- ※1回戦の対豊国学園(福岡)で東海来夏選手(3年)が5人抜き達成、敢闘賞を受賞

- ・敦賀気比高校 3回戦進出

- ・敦賀高校 2回戦進出
- ・啓新高校 1回戦敗退

女子の部

- ・敦賀高校 7回戦進出(準々決勝)
- ※ベスト8 優秀校受賞

- ※岸本歩愛選手(3年)が優秀選手賞受賞

- ・敦賀気比高校 3回戦進出

- ※1回戦の対小倉南(福岡)で山

- 本虹心選手(3年)が5人抜き達成、敢闘賞を受賞
- ・啓新高校 2回戦進出
- ・北陸高校 2回戦進出

福井県知事杯 第21回福井県剣道選手権大会

令和6年7月21日(日)
於 福井県立武道館

男子は林田選手が4年連続6度目、 女子は大西選手が6大会連続6度目の優勝！



福井県剣道連盟は「福井県知事杯

第21回福井県剣道選手権大会」を7

月21日(日)、福井県立武道館で開催

した。県内各地区剣道連盟および団

体から選出された代表選手男子41人、

女子16人が出場し、男女別トーナメ

ントで競った。男子の部は林田匡平

選手(学剣連)が4年連続6度目、

女子の部は大西ななみ選手(学剣連)

が6大会連続6度目の優勝を飾った。

林田選手は11月3日(日・祝)東京

の日本武道館で開催される「第72回

全日本剣道選手権大会」へ、大西選

手も同じく11月3日(日・祝)日本

武道館で開催される「第63回全日本

女子剣道選手権大会」への福井県代

表選手としてそれぞれ選考された。

試合結果は次の通りです。

■男子の部

優勝 林田 匡平(学剣連)

※全日本選手権大会出場は5年

連続7回目

2位 山崎 由樹(県警察)

3位 奥村 龍也(三方地区)

3位 中村翔太郎(越前地区)

■女子の部

優勝 大西ななみ(学剣連)

※全日本女子選手権大会出場は

7年連続10回目

2位 梅原 陽乃(越前地区)

3位 小山 結衣(福井地区)

3位 森川 沙恵(敦賀地区)



【大会講評】

審判長 堀江 範雄

今年も「全日本剣道選手権大会」の出場権を賭けた「福井県知事杯第21回福井県剣道選手権大会」が酷暑のなか県立武道館で開催されました。選手はこの大会のために1年間稽古を積んできており、本県の代表選手を決める大事な大会です。審判員も試合前に審判打合せ会議を実施し、適正公平に審判ができるよう、有効打突の判断及び鏢迫り合い等の反則事項を具体的に確認し、審判員相互の意思の統一を図りました。

開会式では片山会長から「今年の正月、石川県で発生した能登半島地震、早々に送った見舞金に対し、被災地の石川県、富山県からお礼と感謝の連絡がありました。他県ではそのような状況であるにもかかわらず、本県では当大会が実施されることに感謝したい。本日は本県代表選手を



決める大事な大会です。皆さん頑張ってください」との激励があり、来賓の猪嶋宏記県文化・スポーツ局長からは「鹿兒島国体での少年男子、成年男子の入賞は大変喜ばしいことです。今年もよろしく願います」とのお礼の言葉がありました。

審判長（私）からは、特に熱中症対策そして鏢迫り合いからの反則、これらの事について説明し、最後に本県の代表選手を決める大会であるので正々堂々と試合することをお願いしました。

【女子の試合】

大西選手を負かす者は：

今回も力強さは健在

1回戦から準々決勝までは1本勝ちの試合が多く、また延長戦で勝敗が決まり、どちらが勝ってもおかしくない試合内容でありました。

（ベスト4）

大西ななみ選手（敦賀高教員）、梅原陽乃選手（天理大）、小山結衣選手（福井工業大）、森川沙恵（敦賀高）となり、昨年同様教員と学生が勝ち残りました。

準決勝戦の第1試合大西選手と小山選手の試合、第2試合の森川選手と梅原選手の試合は、体の動き打突の切れの良い大西選手とスピードのある梅原選手がコテを決めて快勝、

決勝に駒を進めました。

（決勝戦）

4年連続同一カード、確実な1本の打突を繰り出す大西選手と、今年こそは初優勝をとりベンジに燃える梅原選手との戦いとなりました。

試合はお互いが技を出しますが1本にさせない固いガードの試合展開が続きましたが、途中、大西選手が鏢迫り合いになる前に引き技を出して相手との間合いを切ろうと少し離れた瞬間、前に出て諸手突き、会場がどよめくほどの素晴らしいツキでこれが1本となりました。梅原選手は間合いを切れるものと思ったのか、今まで動いて足がその時だけ止まっていた、大西選手にツキを打たれてしまいました。その後梅原選手は果敢に攻めますが決定打がなく、時間切れとなり大西選手の優勝が決まりました。

惜敗した梅原選手は打突の鋭さに加えスピードもあり、

昨年よりも強くなったと感じました。一瞬足が止まってしまったことが悔やまれますが、



そこを打突する大西選手の能力の高さは素晴らしいと感じました。来年の梅原選手に期待したいです。

今年の女子は去年より出場選手が少なく、試合数も減りました。盛り上がりには欠けたとは言えませんが、女子剣道の活性化の意味で来年は少しでも参加者が増えることを願います。

【男子の試合】

くいつまで続く林田選手の優勝：
安定感のある試合運びで

勝利を掴む

男子は昨年より出場選手が増えました。その要因として県外から大学生が多く出場したからです。その結果、上位に大学生が勝ち残り将来に明るい展望となりました。

（1回戦から3回戦）

3回戦までに大学生が多く勝ち残りしました。山本勇樹選手（日本体育大）、松村恰治選手（筑波大）、井出和樹選手（福井工業大）、また中村翔太郎選手（明治大）、奥村龍也選手（大阪体育大）は県内強化指定選手を打ち破りベスト4に残ったことは大変素晴らしいことです。今後の活躍を期待するものです。

（ベスト4）

ベスト4には学生の山本選手に貫録勝ちした林田選手、県警で強化指

定選手の戸島選手を延長の末勝利した学生の奥村選手、県警で強化指定選手であり若手の伸び盛りの徳橋選手に勝利した高校先輩で学生の中村選手、最後に警察官同門対決で橋本選手に勝利した県警の山崎選手が残りしました。

（準決勝戦）

第1試合は林田選手と奥村選手で、立ち上がりから奥村選手が足を使い動き回り、なかなか林田選手に打突の好機を与えない戦術でしたが、一瞬足が止まったところ引きドウを決められてしまいました。その後の奥村選手はしつかり構えて試合をしましたが時すでに遅し、時間切れとなりました。いつもの奥村選手の剣道スタイルで試合を貫けば勝機はあったかと悔やまれますが大健闘だったと思います。

第2試合は中村選手と山崎選手で、開始早々中村選手の思い切りのある諸突きがありました。部位をとらえてなかったのか旗は上がりませんでした。その後は山崎選手の引きメンが決まり、その後取り返しに中村選手は前に出ようとしましたが、山崎選手に上手くかわされて時間切れとなり山崎選手が勝ちました。

（決勝戦）

決勝戦は昨年同様となり、今年こそはとりベンジに燃える山崎選手と

連覇を狙う林田選手との試合となりました。試合は序盤からお互い豪快にコテ、メンと技を繰り出しますが僅かに決まりません。膠着状態の中から林田選手がスーッと間合いを詰めたところ、山崎選手が捨て身のメンを出しましたが、待つてましたとばかりに林田選手の返しドウが決まり、勝負あり！林田選手の連覇が達成されました。

決勝戦を見て、山崎選手は手元が上がらずにしつかりと中心を攻めたと感じました。今後は中堅剣士として若手を引っ張って欲しいと思います。そして試合後のキラリと光った悔し涙、必ず来年は嬉し涙に変えてほしいと思いました。応援しています。勝利した林田選手は、相手を出させて応じる、格段上にある剣道が習得されていると感じ、いつものとおり恐るべし林田！でした。



【総括】

今大会の結果は、男子は林田匡平選手の4年連続6度目の優勝、女子は大西ななみ選手の6大会連続6度目の優勝となり、この二人の技術面は当然ですが『不撓不屈』の精神を備えていると感じました。

試合を観戦して鏢迫り合いが大変難しいと思いました。この原稿を読んで頂いている皆さんも今一度、正しい鏢迫り合い、そこからの分かれ方、鏢迫り合いからの引き技について勉強してほしいと思います。また、試合になるとなかなか技が1本にならない、これは基本稽古の基本打ちができていない証拠です。今一度正しい打ち方、「打つ」ということは切るということ、「当てるのでは切れませぬ。体全体で打つことが重要」です。具体的に言いますと、右足でしっかり床を踏み込んでいるか？竹刀の振りを大きくすることです。そのところを練習して頂きたいと思えます。大会の冒頭での会長からの挨拶で、能登半島地震について触れられました。お隣の石川県は被災地、本県は



震災の被害は少なく、いつものとおり、あたり前であるがごとく剣道の稽古をしています。私たちは全てのあたり前のことに感謝して今後生活していく必要があると思います。最後に大会運営にご協力頂いた全ての関係者に感謝申し上げます。あ

全国大会・ブロック大会 本県勢の活躍！

第22回全日本選抜

剣道八段優勝大会

令和6年4月21日(日)

於 名古屋市中村スポーツセンター
(名古屋市)

堀江選手、1回戦惜敗！

全日本剣道連盟主催「第22回全日本選抜剣道八段優勝大会」が4月21日(日)、名古屋市の中村スポーツセンターで開催され、本県から昨年に引き続き堀江範雄選手(教士八段、坂井地区)が出場しました。堀江選手は1回戦で和歌山県の宮戸伸之選手と対戦、延長でメンを取られ残念ながら1回戦で敗退しました。優勝は北海道の栄花直輝選手で2連覇を達成しました。

りがとうございました。毎回言うことですが、環境が整っているから勝てるのではない。「勝ちに不思議な勝ちあり。負けに不思議な負けなし」目に見えない努力が必要であることが大切と今年も確認した次第であります。今回はあなたが優勝です！

第22回全日本選抜剣道八段

優勝大会に出場して

教士八段 堀江 範雄

今回も名誉ある大会に出場の機会を頂き大変感謝いたしております。

2月に大会出場決定通知が届き、それからは自身稽古内容も基本重視から少し試合を意識した実践的な稽古に変えました。また、メンタルの部分についてはこれ以上ないくらい色んな不安と沢山の緊張感をわざと毎日持ち続けるようにしました。そして、大会直前には開き直すことを時間の経過とともに作り、その不安等を全て解消するようにしました。

しかし、大会1か月前、予防していたにも関わらず新型コロナウイルスに感染してしまい約10日間自宅で寝てばかりの生活で、治療は何もせず安静にしているだけの毎日悶々とした日

を送っていました。その後稽古を再開しましたが、今までの動きが全くできず、脚、腰が怠く、竹刀も思うようには振れなくて直ぐ息が上がり、更に右膝に水が溜まり腫れあがりました。「やっぱり年齢のせいかな?」元に戻ることはほど遠いと感じながら、やる気は失せていきました。それでも大会はやってきます。どうしたものかと悩んでいました。

その様な中で久しぶりに武道学園の指導に顔を出しました。道場に入ると皆が明るく一生懸命素振り等をやっている姿が眩しく見えました。そこで感じたことは、「ここは何も変わっていない。勝手に変わっていたのは自分だけだ。これではいけない、俺もやらんと!」と学園の皆さんの姿から勇気をもらい、「よし、やるか!」と自分に火が点きました。「私に与えられた使命は? コロナになったことはもう仕方がない。コロナになったのも大会直前じゃなくて良かったのではないの? まだ時間はある!」とポジティブに考え、そこからまた朝稽古等を再開し、地道に稽古を始め大会を迎えました。

大会は名古屋市中村スポーツセンターで行われ、久しぶりに有観客でアリーナ席も設置され、観客と選手と近く迫力のある試合が見学できるようにしてありました。今回その

アリーナ席中央に昨年同様武道学園の皆さんの姿に、大変なプレッシャーと感謝、そして励みになりました。開会式では網代会長の「剣道界はコロナに対する術を学んだ、そのことを踏まえてしっかりとやってほしい」と挨拶があり大会の幕が上がりました。

1回戦8試合目の私の試合が始まり、お相手は和歌山県の宮戸伸之先生(元警察官)でした。宮戸先生とは同級生で、若かりし警察特練時代から切磋琢磨しながら苦楽を共にした戦友です。しかし剣道から離れると、プライベートでは大変親しくしており、対戦が決まった時も「お互いしっかりと構えて恥ずかしい試合をしよう」と話してました。しかし試合が始まると、話していた「しっかりと構えてやるよ」なんかどこかに行ってしまい、お互いが昔の特練時代に戻り、「この野郎!」と技の応酬で試合が始まりました。

宮戸先生は長身で、私の竹刀の剣先は家の2階の窓に向けているくらいで、面なんかは到底届きそうにもありません。でも何とか届かそうと間合いを詰めるのですが、引かれてしまうと空振りばかり。そこで今度は手元が浮いたところにコテを打つても有効打効果なし。それでも何とかしなければと最後に左胴(逆胴)を打ちましたが、これまた決まらず。

延長戦に入っても「これは何で勝負が着くのか？」と思いつてしまいましたが、最後に相手のメンに合わせさせてしまいました。技を出す前に「しまった！ まずい、やられる」と思ったところ、案の定メンを痛打されました。絶対に合わせたらやられると思っていましたが、あの時だけ合せてしまい、簡単にメンを打つことが勝負の分かれ道だったと思います。試合後、宮戸先生と「最後だけお互いが合ったところだったな。早く出した方がメンに当たっただけやな」と話し、試合には負けて本当に悔しかったですが、久しぶりに燃えた試合でした。

試合前に「今回自分は絶対に引かない。引くのではなく前のみ」を心掛けましたが、試合に勝つにはそれだけでは不十分で、連覇された栄花直輝先生の『常に相手の剣を殺す。出て引いても相手に先を取らせない。自分が中心を取って戦うこと』の大切さを勉強させていた、だきました。今後は少しでも出来るよう日々精進したいと思います。

最後に、遠路応援に来ていただいた方もおられたにもかかわらず、試合に負けてしまい大変申し訳なく思っておりますが、皆さんに来ていただき大変感謝しております。ありがとうございました。また来年選考していただけるのであれば、しっかりと準備して大会に臨みたいと思います。今後ともよろしくお願ひ致します。

この前YouTubeを見ていた人から、「先生が技を出す度に拍手が鳴ってましたね。良く見ると画面中央アリーナ席に武道学園を見た人がずーっと映っており大変楽しかったです。試合も良かったですが、知っている人が映っていたので楽しかったのと凄いです」と言われ、別に私が凄いのではありませんが、なぜか自身大変嬉しく思いました。また、余談ですが試合後全く知らない人から、「今年もコテが炸裂してましたね！」と声をかけられ、「見ている人はいるものだ、アホ顔してたらあかん」と思った次第です。

以上が今回の感想です。また皆さん一緒に頑張ってください！武道学園に来てください。



第72回全日本都道府県対抗 剣道優勝大会

令和6年4月29日(月・祝)
於 エディオンアリーナ大阪

試合結果は次の通りです。

▽1回戦

- | | |
|------------|-----|
| 福井県 | 奈良県 |
| 先鋒 山下 引き分け | 北東 |
| 次鋒 奥村 メー | 西浦 |
| 五将 富田 引き分け | 山田 |
| 中堅 林田 メ、メー | 杉村 |
| 三将 戸島 ーコ | 前田 |
| 副将 中村 引き分け | 豊田 |
| 大将 小辻 ーコ | 濱田 |

▽2回戦

- | | |
|------------|-----|
| 福井県 | 福岡県 |
| 先鋒 山下 引き分け | 関 |
| 次鋒 奥村 メーメ | 小畔 |
| 五将 富田 メード | 山田 |
| 中堅 林田 ーメ、ド | 星丸 |
| 三将 戸島 メー | 望月 |
| 副将 中村 ーメ、メ | 林田 |
| 大将 小辻 メーメ | 大淵 |

【観戦記】

強化・選考部委員 鈴木 秀典
成年委員会委員

4月29日(祝)、大阪府エディオンアリーナにおいて「第72回全日本

都道府県対抗剣道優勝大会」が開催され、福井県チームは松井宏文監督の下、選手7人が大会に臨みました。2月の県内予選会で選手が決定した直後から、週1回の国スポ強化訓練等の機会に集まり稽古や団結会を重ね、チーム力を高めてきました。

1回戦は奈良県との対戦となりました。先鋒は丸岡高校3年の山下選手。決して派手さはないが試合巧者で、要所ではしっかりと技を出し、惜しいメンや引きメンを放つも有効打突には至らず引き分け。次鋒は大阪体育大学3年の奥村選手。序盤から激しい打ち合いが続き、終盤相手が間合いを詰めコテに来るところに對して鋭いメンを合わせ、1本勝ちを収めました。五将は昨年に引き続き福井刑務所の富田選手。良い流れを引き継ぐべく、終始攻めの姿勢から1本を狙うも相手の守りも固く、悔しい引き分け。中堅も昨年に引き続き丸岡高校教員の林田選手。会場からの注目を浴びる中、主に右足を使った攻めと体当たりで相手を崩し、得意のメンと引きメンを奪い終わってみれば試合時間59秒、会場も大いに沸いた！三将は初出場の警察官戸島選手。後がない相手選手の猛攻に對し足を巧みに使って捌くもの、試合時間残り20秒手元が浮いたところにコテを決められ1本負け。副将

は福井刑務所の中村選手。怪我の影響でまともに試合ができる状態ではなかったが、アドレナリンと気迫全開で引き分けに持ち込む。1勝2本差で迎えた大将小辻選手。相手の猛攻を凌ぐ中でも惜しい引きメンを放つなど、巧みに試合を進め残り時間もあと僅かというところでコテを奪われたものの、程なく試合終了となり本数差でチームは勝利を収めた。

2回戦は福岡県、先鋒から大将まで各ポジションの有名選手がズラリ。しかしそれに臆することなく「昨年の鹿児島国体のリベンジを！」と円陣を組み気合を入れた。先鋒戦は引き分け。次鋒戦は、中盤好調奥村選手の目の覚めるような飛び込みメンが決まりそのまま勝利かと思われたが、相手も流石でありメンを決められ結果引き分け。続いて五将戦、前へ前へと相手を攻め立てるも中々隙がでなかつたが、中盤間合いを詰め、相手の二段打ちに対して絶妙なタイミングでメンを打ち込み先制。その後も攻勢を維持したものの、残り時間僅かなところで富田選手の手元が上がったところに左ドウを打込まれ、これまた悔しい引き分けとなった。この状況を打開すべく林田選手に期待が高まったが、相手もさすがに研究しており中々思うような攻めができず、中盤相メンと面返しドウ

を奪われ、まさかの黒星。リードを許し迎えた三将戦、戸島選手は足を小刻みに使い終始相手に的を絞らせない剣道に徹し、終盤まさに千載一遇のタイミングでメンを決め後続に望みを繋げた。副将戦は更に勢いに乗りたかつたが、中村選手の足も限界を迎えており、引きメンとメンを奪われ、この時点で敗戦が確定した。それでも大将戦は、開始早々相手が引いたところに豪快にメンを決め、更には相手が出てくるところに出コテが決まったように思ったが、体勢が崩れ不十分。その後、相手がメンに来たところにメン摺り上げメンといった「玄妙な技」を放つも相手の方に旗が上がりが結果引き分けに終わった。結果、チームは2対1の僅差で敗れたもののその戦いぶりは立派であり実力は互角であった。

本大会には本県からも多くの方が応援に駆けつけてくれ、観覧席から大声援が選手達の力となりました。まさに「チーム福井」としての戦いであつたように思います。

本大会は年齢幅が10代から60代、またそれぞれの出場資格は学生、教職員、刑務官、警察職員、更には日本代表選手やYou Tubeでお馴染みの方まで、各都道府県の代表選手が一堂に会する素晴らしい大会だと思えます。コロナウイルス感染症も収束

しつつあり観覧制限ありませんので、是非来年度は本県選手の応援は勿論、有名選手たちの試合を堪能してみてはいかがでしょうか。



第34回若獅子旗争奪

中学選抜剣道白山大会

令和6年5月11日(土)～12日(日)

於 白山郷公園体育館
(石川県白山市)

男子団体で松陵中学校が優勝、個人戦では元井颯汰選手(松陵中)と森川瑞紀選手(中央中)が優勝!

石川県白山市・白山市教育委員会主催、白山市剣道連盟主管、石川県剣道連盟、石川県中学校体育連盟等後援の「第34回若獅子旗争奪中学選

抜剣道白山大会(令和6年能登半島地震復興支援大会)が5月11日(土)～12日(日)、石川県白山市の白山郷公園体育館で開催されました。参加校は北信越地区の各県中学校体育連盟剣道部もしくは剣道専門部で選考された男女各24校で、本県から男子の部で松陵中学校と森田中学校、女子の部では中央中学校と森田中学校が出場しました。

試合結果は男子団体の部で松陵中学校が優勝、女子団体の部では中央中学校がベスト8に入賞。また個人戦では、男子の部で松陵中学校の元井颯汰選手が昨年に続き連覇、女子の部では中央中学校の森川瑞紀選手が優勝、県勢が好成績を収めました。





第66回北信越学生剣道選手権大会・第58回北信越女子学生剣道選手権大会

令和6年5月12日(日)
於 新潟大学第一体育館

福井工大勢(男子)が、上位入賞！
男子は工大大鷹選手が制覇
女子は工大小本選手が準優勝！

北信越学生剣道連盟主催の「第66回北信越学生剣道選手権大会」が5月12日(日)、新潟県の新潟大学第一体育館で開催され、6月29日(土)～30日(日)、東京都調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催される「第72回全日本学生剣道選手権大会」と「第58回全日本女子学生剣道選手権大会」への出場権を掛けて

競いました。男子の部では福井工業大学の鷹選手が優勝、同大学からは小浦選手が準優勝、4位に膳所選手、5位に熊崎選手、10位に奥田選手が入賞しました。また女子の部では同大学の小本選手が準優勝しました。

本県勢の試合結果は以下の通りです。

■男子の部

- 優勝 大鷹光貴 (福井工業大学)
 - 準優勝 小浦一朗 (福井工業大学)
 - 4位 膳所龍五 (福井工業大学)
 - 5位 熊崎晃誠 (福井工業大学)
 - 10位 奥田大也 (福井工業大学)
- ※本年度より男子は12位までが全日本学生選手権大会に出場



■女子の部

- 2位 小本明依 (福井工業大学)
- ※本年度より女子は6位までが全日本女子学生選手権大会に出場

第21回松代藩文武学校旗争奪全国中学校選抜剣道大会・第18回松代藩文武学校杯争奪小学生選抜剣道大会

令和6年5月19日(日)
於 ホワイtring (長野市)
真島総合スポーツアリーナ

中学校男子の部で松陵中学校が優勝！
女子の部で中央中学校がベスト8！

(一財)長野県剣道連盟・長野市剣道連盟等主催の「第21回松代藩文武学校旗争奪全国中学校選抜剣道大会」第18回松代藩文武学校杯争奪小学生選抜剣道大会」が5月19日(日)、長野県長野市のホワイtringで開催され、本県からは中学校大会男子の部に松陵中学校と森田中学校、同女子の部に中央中学校と森田中学校、小学生の部に敦賀市剣道スポーツ少年団と福井養正館が出場しました。

長野県の松代藩文武学校は、松代藩が文武併習の学校として1855年に開校し、学問と武道の学舎として歴史と伝統を築きあげてきました。標記本大会は全国の中学生・小学生剣士が松代に集い、古の昔を偲び「松代藩文武学校旗争奪全国中学校選抜剣道大会・同文武学校杯争奪小

学生選抜剣道大会」として青少年の健全育成・親善交流を図ることを目的に開催しています。試合結果は次の通りです。

◆第21回松代藩文武学校旗争奪全国中学校選抜剣道大会

- ▽松陵中学校男子の戦績
- ・ 2回戦 2-1 大剣会 (静岡)
- ・ 3回戦 3-0 柳町中 (長野)
- ・ 4回戦 1-0 幕張本郷中 (千葉)
- ・ 準々決勝 1-0 南橘中 (群馬)
- ・ 準決勝 0 (代表勝ち) - 0
- ・ 決勝 1 (本数勝ち) - 1 新東淀中 (大阪)

※優勝



- ▽森田中学校男子の戦績
- ・ 1回戦 3-0 南箕輪中 (長野)
- ・ 2回戦 2-1 大沼中 (埼玉)
- ・ 3回戦 0-4 磐田東中 (静岡)

▽中央中学校女子の戦績

- ・ 2回戦 2-1 大東中 (埼玉)
- ・ 3回戦 4-1 藪塚剣道クラブ (群馬)

- ・ 4回戦 3-0 潮田中(神奈川)
- ・ 準々決勝 1-3 壬生中 (栃木)

(壬生中は優勝)

※ベスト8

▽森田中学校女子の戦績

- ・ 2回戦 1-2 南橋中 (群馬)

◆第18回松代藩文武学校杯争奪小学生選抜剣道大会

▽福井養正館の戦績

- ・ 1回戦 4-1 中央健友会 (山梨)

- ・ 2回戦 4-1 五岳館 (長野)
- ・ 3回戦 1-3 上の台剣友会 (千葉)

(上の台は3位)



▽敦賀市剣道スポーツ少年団の戦績

- ・ 1回戦 4-1 寺尾少年剣道クラブ(長野)
- ・ 2回戦 0-5 東松館道場(東京)



第69回西日本学生剣道大会
第39回西日本女子学生剣道大会

令和6年5月25日(土)〜26日(日)
於 久留米アリーナ(久留米総合スポーツセンター体育館)

本県勢の結果は次の通りです。

◆第39回西日本女子学生剣道大会

- ▽1回戦 福井工業大学 2-0 摂南大学
- ▽2回戦 福井工業大学 1-3 園田女子学園大学

※2回戦敗退

◆第69回西日本学生剣道大会

- ▽1回戦 福井工業大学 2-0 九州大学
- ▽2回戦 福井工業大学 5-1 龍谷大学
- ▽3回戦 福井工業大学 0-2 関西学院大学

※ベスト16



第46回全日本高齢者武道大会

令和6年6月3日(月)
於 日本武道館

(一財)全国老人福祉助成会主催、

全日本高齢剣友会共催、厚生労働省・

スポーツ庁・(公財)全日本剣道連盟

など後援の「第46回全日本高齢者武

道大会」が6月3日(月)、日本武

道館で開催され、本県から福井県寿

康会の河合岩暢さん(三方地区)、

坂田豊嗣さん(坂井地区)、奥井俊

雄さん(敦賀地区)、吉田淳夫さん

(三方地区)、土井清司さん(三方地

区)、田中恒安さん(福井地区)が

団体戦と個人戦に出場しました。男

子団体戦には26県、女子団体戦には

15県、男子個人戦には寿組(80歳以

上)96名をはじめ特組(75〜79歳)

109名、A組(70〜79歳)137名、B組

(65〜69歳)147名、C組(55〜64歳)

95名、女子個人戦には72名が出場し、

熱戦が繰り広げられました。

本県勢の結果は次の通りです。

■男子団体戦

▽1回戦

福井 0-2 栃木(栃木は優勝)

■男子個人戦

田中、土井、坂田、河合:

予選リーグ敗退

吉田:予選リーグを突破し決勝トー

ナメント2回戦で敗退

第 62 回北信越高等学校剣道大会

令和 6 年 6 月 14 日(金)～16 日(日)

於 ホワイトリング(長野市)
真島総合スポーツアリーナ

**男子団体が丸岡高校が準優勝
敦賀高校が男女共に3位入賞!
個人男子の部で丸岡高の山下
慶也選手、山本天晴選手、女
子の部で敦賀高の岸本歩愛選
手がベスト8入賞!**

第62回北信越高等学校剣道大会が
6月14日(金)～16日(日)、長野県
長野市のホワイトリング長野市真島
総合スポーツアリーナで開催され、
本県勢では、男子団体が丸岡高校が
準優勝、敦賀高校が男女共に3位入
賞、個人戦では個人男子の部で丸岡
高の山下慶也選手、山本天晴選手、
女子の部で敦賀高の岸本歩愛選手が
ベスト8に入賞しました。
本県勢の試合結果は次の通りです。

■男子個人

ベスト8 山下慶也(丸岡高校)
山本天晴(丸岡高校)

■女子個人

ベスト8 岸本歩愛(敦賀高校)

■男子団体

【予選リーグ】

丸岡高 4勝

(決勝トーナメント進出)

美方高 3勝1敗

(決勝トーナメント進出)

北陸高 3勝1敗

(決勝トーナメント進出)

敦賀高 3勝1分

(決勝トーナメント進出)

【決勝トーナメント】

▽準々決勝

敦賀高 1(本数勝ち)―1 北陸高

丸岡高 2―1

佐久長聖高(長野県)

美方高 0―1

長野日大高(長野県)

▽準決勝

丸岡高 0(代表勝ち)―0 敦賀高

▽決勝

丸岡高 0―1

新潟明訓高(新潟県)

【結果】

2位 丸岡

3位 敦賀

ベスト8 北陸、美方

■女子団体

【予選リーグ】

敦賀高 3勝1敗

(決勝トーナメント進出)

北陸高 1勝3敗

(予選リーグ敗退)

敦賀気比高 4敗

(予選リーグ敗退)

丸岡高 2勝2敗

(予選リーグ敗退)

【決勝トーナメント】

▽準々決勝

敦賀高 1―0 新潟商業高

▽準決勝

敦賀 0―0(代表勝ち)

五泉高(新潟県)

【結果】

3位 敦賀

■優秀選手

男子 山下慶也(丸岡)

女子 岸本歩愛(敦賀)



【大会感想】

丸岡高校剣道部

男子主将 東海 来夏

私たち丸岡高校剣道部は6月14日
から16日、長野県の長野市真島総合
スポーツアリーナで開催された北信
越高等学校剣道大会に出場させてい
ただきました。

決勝戦では一本差で敗退し、準優
勝というとても悔しい結果で大会を
終えました。今回の大会では予選リー
グから決勝トーナメントまで1試合
も落とすことができない状況で、苦
しい試合展開になることもありまし
たが、なんとかチーム全員で勝ちき
ることができました。準々決勝は大
将戦、準決勝は代表戦、決勝戦は大

将戦と手に汗握る展開になり、この大会も1本の大切さを痛感しました。この悔しさをバネに自分たちの剣道を見直し、改善し更にレベルアップした姿を大分インターハイで見ることができるよう日々の練習に励んでいきます。応援ありがとうございます。

敦賀高校剣道部

女子主将 窪田 咲月

先日行われた北信越大会に出場しました。団体戦の結果は3位で、目標としていた優勝を達成することはできませんでした。3年生にとっては最後の北信越大会で悔しい気持ちが大きいですが、この負けを通して一人ひとりが次に向けての課題を得ることができたと思います。改めて勝ちきることの難しさを感じた大会になりました。次は玉竜旗、インターハイです。福井県の代表にふさわしいチームを最後まで全員で作っていき、今まで積み上げてきたものを出し切って結果を出せるように最後まで全力で稽古に励んでいきます。いつも応援してくださいている方々に結果で恩返しができるよう、全力を尽くします。

第72回全日本学生剣道選手権大会・第58回全日本女子学生剣道選手権大会

令和6年6月29日(土)〜30日(日) 於 武蔵野の森総合スポーツプラザ (東京都調布市)

個人戦の学生日本一を決める「第58回全日本女子学生剣道選手権大会」(6月29日)、「第72回全日本学生剣道選手権大会」(6月30日)が東京都調布市の武蔵野の森総合スポーツプラザで開催され、北信越地区代表として福井工業大学から男子5名、女子1名が出場しました。福井県勢の試合結果は次の通りです。

◆第72回全日本学生剣道選手権大会

福井県勢の結果

▽1回戦

膳所龍五 (福井工大) メ、メーメ

丸尾 (東京学芸大)

熊崎晃誠 (福井工大) ー延コ

山本 (中大)

▽2回戦

膳所龍五 (福井工大) ー延コ

杉山 (大体大)

小浦一朗 (福井工大) 延ドー

日裏 (国武大)

大鷹光貴 (福井工大) ーメ

熊木 (鹿体大)

▽3回戦

小浦一朗 (福井工大) ード、コ 脇山 (九産大)

奥田大也 (福井工大) メーコ、メ 平岡 (慶大)

熊崎晃誠 (福井工大) 1回戦敗退
小浦一朗 (福井工大) 3回戦進出
奥田大也 (福井工大) 2回戦敗退
膳所龍五 (福井工大) 2回戦進出
大鷹光貴 (福井工大) 2回戦敗退
※優勝は法政大学の矢野選手 (初優勝)



◆第71回全日本学生剣道

東西対抗試合

東軍十六将 大鷹光貴選手

(福井工大) 1戦目負け

東軍五将 小浦一朗選手

(福井工大) 1戦目引き分け

※西軍が優勝

◆第58回全日本女子学生

剣道選手権大会

福井県勢の結果

▽1回戦

小本明依 (福井工大) ーコ、メ

矢部 (流通経済大)

※優勝は法政大学の水川選手 (3連覇)



第59回北陸地区高等専門学校 体育大会 剣道競技

令和6年7月6日(土)～7日(日)
於 越前市武道館

福井高専が男子団体優勝、 男子個人も宮田選手 (福井高専) が制覇!

「第59回北陸地区高等専門学校体育大会剣道競技」が7月6日(土)～7日(日)、越前市武道館で開催され、男子団体では福井工業高等専門学校が7年ぶりに優勝、男子個人でも福井高専の宮田慈生選手が優勝しました。

結果は次の通りです。

男子団体

- 福井高専 2 (本数勝ち) — 2 富山高専本郷キャンパス
- 富山高専射水キャンパス
- 福井高専 1 — 3 石川高専
- 福井高専 3 — 2 石川高専
- 富山高専本郷キャンパス
- 2 (本数勝ち) — 2 富山高専射水キャンパス
- 富山高専本郷キャンパス
- 福井高専 1 — 4 石川高専
- 福井高専 2 — 0 富山高専射水キャンパス

- 優勝 福井工業高等専門学校
- 準優勝 石川工業高等専門学校
- 第3位 富山高等専門学校本郷キャンパス

女子団体

- 富山高専射水キャンパス — 1 富山高専本郷キャンパス (棄権)
- 優勝 富山高等専門学校射水キャンパス

男子個人

- 優勝 宮田慈生 (福井高専)
- 準優勝 中島悠貴 (富山高専本郷キャンパス)
- 第3位 金森貴陽 (富山高専本郷キャンパス)

女子個人

- 優勝 渡邊結衣 (富山高専本郷キャンパス)
- 準優勝 此川依杏 (富山高専射水キャンパス)
- 第3位 青木海夕 (富山高専射水キャンパス)



7年振り団体優勝の福井工業高等専門学校と個人優勝の宮田慈生選手 (前列右端)

第16回全日本都道府県対抗 女子剣道優勝大会

令和6年7月15日(月・祝)
於 日本武道館

福井県チーム、 初の1回戦突破!

福井県チームの結果

▽1回戦	福井県	山下	メ、メ	宮城
		梅原	引き分け	竹下
		大西	引き分け	ペリー
		田中	メ、コ	我喜屋
		山田	メ	島尻
		橋本	引き分け	比嘉
		道内	メ、メ	長門
▽2回戦	山形県	工藤	コ、メ	山下
		鹿野	コ引き分け	梅原
		齊藤	メ	大西
		工藤	メ引き分け	田中
		長岡	引き分け	山田
		井若	引き分け	橋本
		布施	引き分け	道内
		布施	延メ	道内



【観戦記】

監督 高嶋 寿美

7月15日(月)、日本武道館で「第16回全日本都道府県対抗女子剣道優勝大会」が開催されました。これまで福井県女子チームはこの大会で初戦を突破したことがありませんでした。昨年の同大会では、初戦突破を目指して1回戦愛知県と戦い、チームでつないで凄く頑張ったのですが惜しくも敗退しました。試合後、来年こそは初戦突破したいと選手で話し合い、気持ちを一つにして帰福しました。

今年の1回戦は沖縄県との対戦。7人制ということもあり流れが大きく変わることもありましたが、結果は3対1で勝利、初戦突破、初勝利することができました。選手は初戦

突破を喜んでいましたがまだまだ試合い十分でした。次の山形県との試合もチームで繋いで勝利を勝ち取ろうと、すぐに切り替えて山形県との試合に挑みました。2回戦が始まり、選手は自身ができることを全て出さっていました。また、チャンスを逃さないようにしつかり攻めることができず、取つたり取られたり、非常に拮抗した試合が展開されました。結果は惜しくも代表戦で負け、選手たちは大変悔しがっておりました。

今回の試合を振り返ると、選手各々が持っている力を発揮することができたとても良い内容だったと思います。また、試合に向けても十分準備してきていました。それぞれの対戦で、『たられば』を言ってしまうときりがありませんが、『たられば』を起すのも起こさないのも普段の行動が引き起こしていると考え、来年の大会に向けて環境を整えたり、目標を立てたり、意識した練習などができたらと思っております。来年もさらに上を目指して、福井県のチームが今後益々活躍できるように、女性剣士皆さんで声を掛け合いながら、楽しく、真剣に剣道をしたと思うております。

選手の皆さん、本当にお疲れ様でした。

第3回北信越高齢者武道大会

令和6年7月21日(日)

於 ホワイトリング (長野市)

長野県高齢剣友会主催の「第3回北信越高齢者武道大会」が7月21日(日)、長野市のホワイトリングで開催され、北信越地区の新潟県、富山県、福井県と開催地の長野県から男女合わせて約120名が参加、本県からは福井県剣道寿康会会員17名が参加しました。団体は福井県剣道寿康会A・B・Cと長野県との合同チームの4チームに分かれ、個人戦は年代別に分かれて出場し交流を深めました。

試合結果は次の通りです。

■ 団体戦

▽1回戦

長野県選抜 3-1

福井県剣道寿康会C

福井長野合同 3-1

富山チューリップ(富山)

▽2回戦

福井県剣道寿康会B 3-1

妙高山(新潟)

ねりんピック長野 3-1

福井長野合同

共栄館道場 2-1

福井県剣道寿康会A

▽3回戦

長岡朝稽古会 4-1

福井県剣道寿康会B

※ベスト8

■ 個人戦

▽男子個人戦A

3位 尾形言成(越前地区)

▽男子個人戦B

3位 田辺寿行(越前地区)



開会式

開会式



男子個人戦B 3位入賞表彰式の田辺寿行選手



男子個人戦A 3位入賞表彰式の尾形言成選手